

平成19年度 ペアリフト トラブル状況

月 日	天候	場所	現象	処 置	備 考
19. 3.30	晴	第1 終点	試運転制動試験中、乗越し検出装置の動作確認をしたがリフトは停止しなかった、リミットスイッチの状態確認（テスター使用）内部で導通状態となっていた	リミットスイッチ交換 （不良スイッチ分解、スパーク痕発見）	早朝の強雷の影響 と思われる
		第2 終点 ・線路	線路監視装置カメラコントロールできず、モニター電源入らず、カメラより映像送らず	日本通信へ修理依頼	
		第3 起点 ・線路	電源投入したが故障表示モニターは無表示、リセットをしても原動保安表示灯が消灯状態でリセットできず	故障表示モニター交換 制御盤内リレー3ヶ交換	始業時 早朝の強雷の影響 と思われる メーカーへ連絡、対処方法を仰ぐ
	風監視装置 11号柱検出器、指示計機能せず	指示計全交換			
	18号柱指示計警報ブザー鳴らず、保安装置働かず	11号柱設置の検出器交換			
		脱索検出メーターは11号柱指示	全支柱外観状態確認 脱索検出用抵抗全交換 7・8号柱通信ケーブル割り出し線点検 （7号柱にてスパーク痕と併に断線箇所発見し結線）		

平成19年度 ペアリフト トラブル状況

月 日	天候	場所	現 象	処 置	備 考
19.12.16	雪	第3 終点	15:44 お客様が転倒し操作スタンドの高速 減速切替スイッチを減速に切替対応、その後高速にしようとしたが動作不良をおこし高速に切替らなくなる スイッチ取付部が緩み内部も一緒に回り断線する	仮結線し高速へ切替 17 日本結線実施	
23	雪	第1 起点	9:29 逆転検出を表示し停止	リセットし復帰（故障表示無し） 運転再開 様子を見る 営業終了後 逆転検出パットのあたり調整実施	
			表示灯球切れ交換・・・第2 起点制御盤 原動保安表示灯		
19.12.26	晴	第1 終点	保安通信設備 電話のベル音が小さくなる	電池交換	
28	曇	第1 終点	折返し滑車より異音あり	綴りボルト増し締め	
30	雪	第2 起点	信号ベル鳴らなくなる	分解、修理（電極清掃）	
		第3 線路	11号柱の風速発信器凍結し動かず	氷除去	
31	雪	第2 起点	始業点検 電源投入時OKモニターに出庫異常釦の表示がでてリセットが働かなくなる	電源を一度切り再投入 表示無し、リセットも働く 保安設備に無い装置を表示している 為、シーケンサの誤動作と思われる 様子を見る	

月 日	天候	場所	現 象	処 置	備 考
20.1.6	快晴	第2 終点	監視盤 高速 減速切替スイッチ、動作を早くすると高速に替わらない場合がある	点検、様子を見る スイッチ交換（中古）	在庫無しメーカー発注 1/18 新品交換実施
1.17	晴	第2 起点	10:45 頃突然停止 OKモニターは無表示	シーケンサの誤動作と思われる 1/18 シーケンサ交換	第2用 予備終了
1.26	晴	第1 搬器	N0,58 タング後側折損	交換	12:41～乗車規制 12:48～整備開始 12:53～営業再開
1.31	晴	第1 起点	油圧緊張ユニット オイルフィルタの差圧表示器の視窓に赤色表示がでる	リセット 終日表示無し 様子を見る	2/26 同様の件あり 作動油を抜き取り水の混入等確認 異常なし
2.4	晴	第2 起点	始業時電源投入するとシーケンサ異常がモニターに表示されリセット働かず	c p uキースイッチがストップの状態となっていた ランに切替	キーは取外し別の場所にて保管
2.8	晴	第1 起点	11:48 運転盤の電圧計が480vまで上昇、その後徐々に下がり420v（1.8m/s）に戻る	制御盤は変動なし 静電気の疑いあり	
2.27	晴	第1 線路	試運転時 受索装置 2号柱上り N0,4・7号柱上り N0,4の索輪が凍結により偏摩耗する	交換	
			表示灯球切れ交換・・・第2降場操作盤 速度表示灯（2m/s） 第1降場操作スタンド 速度表示灯（1.8m/s）		

月 日	天候	場所	現 象	処 置	備 考
20. 3. 3	曇	第 1 起点	乗車規制装置 赤信号灯点灯せず	点検、リレー交換	
3. 5	晴	第 3 搬器	No, 101 手摺緩みあり	取付ボルト増し締め	
3. 8	晴	第 2 起点	始業時、制御盤内スペースヒーターのブレーカーが遮断されヒーターが切れていた	点検、異常無し 前日電源を切った時一緒に切ってしまったと思われる（通常常時 ON）	
3. 13	曇	第 3 起点	制動距離が伸びる	流量調整弁にて調整	